

限りある資源を再生可能な資源へ

鹿児島県素材生産業協同組合連合会 代表理事 有馬純隆

住宅や家具、日用品など様々な用途に使われる、とても身近な素材である「木材」は伐採から搬出までを担当する素材生産事業者、製材事業者、木材販売事業者等の多くの行程を経

て消費者のもとに届きます。その一番川上側にある素材生産事業者の協同組合連合会の活動を紹介します。



1. 鹿児島県の紹介

鹿児島県は九州の南端に位置し、県のシンボル桜島をはじめ、世界遺産の屋久島や種子島宇宙センターといった自然・文化・観光の面においても豊富な資源に恵まれた県です。鹿児島県の森林面積は県土の65%にあたる約59万haで、うちスギ・ヒノキの人工林面積は27万haで利用可能な31年生以上

の資源が94%に達するなど着実に充実しており、近年の木材需要の高まりに対して、昨年の木材生産量は主伐を中心に117万m³で、5年連続100万m³以上の木材生産量となっています。一方で人工林伐採跡地における再造林率は、過去10年は4割程度で推移しており、地域の大きな懸念となっています。

2. 連合会設立の目的

本連合会は、平成23年に素材生産事業を行う各組合間の連携を促進し、組織と体制の強化を図り、協同事業の有効性と実効性

を高め、県内素材生産業の健全な振興・発展、県産材の付加価値向上による需要の拡大を目指し、設立しました。

3. 素材生産業とは

木を木材として利用するというイメージすると、森に入りチェーンソーで木を切り倒している姿が浮かぶ方が多いと思います。これは「伐採」と言い、確かにこの作業は行いますが、素材生産業はそれだけでなく、実は下図のような循環させる事業になっています。

【伐採契約・準備】
まず、伐採する森林の所有者の意向と現場

の状況を踏まえて計画を立てます。その後、契約や許可・届出等を行い、搬出の路網の開設をします。路網の開設については、民家や一般道等の重要な保全対象への配慮や、生態系や景観等の環境保全に配慮し行います。

【伐採・造材・集運材】

区域を慎重に判断したうえで伐採をしていき、伐(き)り出した木を搬出します。

【再造林】

非常に重要な工程がこの再造林です。当然ですが、木を伐採だけして放置すると、伐る木はなくなってしまいます。さらに、土壌が流れやすくなる等の



植林作業の様子



の災害の危機を生み、環境を破壊する等の問題が発生してしまいます。このようなことから、

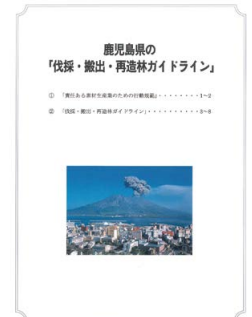
林業では「伐ったら植える」ことは当たり前として、循環を生むように事業を行っています。

4. CRL 認証制度について



計画に沿った適格な素材生産事業を行うために、当会が周知・案内等を行っているのがCRL認証制度「責任ある素材生産事業体認証制度」です。2016年に「伐採・搬出・再造林ガイドライン」を自主的に制定し環境配慮

に取り組んできました。そして、地域社会からより一層の信頼を獲得するために当ガイドラインを基に、2018年に立ち上げられたのがこのCRL認証制度です。



5. 環境問題と物流への取組み

近年、地球温暖化が深刻な環境問題として大きくクローズアップされるなかで、CO₂を吸収する森林・木材は低炭素社会の主角として強い期待が寄せられています。京都議定書に基づくCO₂削減目標6%のうち、3.9%を森林による吸収で確保することとなっています。そのためには、森林整備を確実に行之、

森林機能を持続的に発揮させることが不可欠だと思っています。今後も、強い使命感を持ち事業を行っていきます。

世界と日本の森林を守るためにも、皆さんも住宅や家具等を購入される際、合法的に伐採された木材が使用されているか気にかけてみてください。

6. 今後の展望

現在は、ウッドショックと言われるように、木材の価格が急激に上昇しています。しかし、海外需要の急拡大によるものであり、近いうちに収まるのではないかとみています。こうした変動に左右されることなく、目の前の業務に一生懸命取り組みたいと思います。

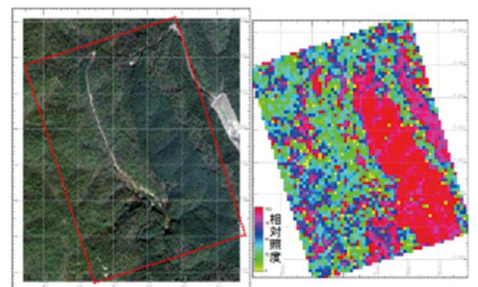
例えば近年、森林施業の効率化・省力化や需要に応じた高度な木材生産を可能にするため、地理空間情報やICT、ロボット等の先端技術を活用した「スマート林業」の実現に向けた取り組みが加速しています。当会でも、苗木を運搬するドローンの検討を行っており、今後も様々な技術の導入を検討する予定です。このような効率化・省力化等が、若年層に業界への興味を持たせ、人手・後継者不足の解消に繋がれば良いと考えています。素材生産業が雇用を創出し、地域経済を盛り上げ、地方創生の一助となれるよう活動していきます。

森林は、全てに繋がっていると言われていいます。森林が存在しなければ、人が生きるために必要な水が生まれません。そして、水が生まれなければ、お米が作れません。さらには、豊かな海が作られず、魚が獲れなくなります。

森林は、人が豊かな生活を送るための根源であるという使命を持ち、持続可能な循環型の事業を展開していきたいと思っています。



ドローンによる苗木の運搬



航空レーザー測量による林相図